

ヒト由来ペプチジル-プロリルシス/トランス異性化酵素、再組換え

Cat. No. NATE-0910

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明

ヒト Pin1は、NIMAと相互作用し、細胞周期の調節に不可欠なペプチジル-プロリルシス/トランス異性化酵素（PPlase）です。Pin1はWWタンパク質相互作用ドメインを含む核内PPlaseであり、出芽酵母における必須タンパク質Ess1/Ptf1と構造的および機能的に関連しています。PPlase活性は、酵母におけるEss1/Pin1の機能に必要です。したがって、Pin1はNIMAと相互作用し、その有糸分裂促進活性を抑制することによって、有糸分裂を調節する必須のPPlaseです。Pin1の基質には、有糸分裂調節因子（Cdc25ホスファターゼ、NIMA、PLK I、Wee、Myt1キナーゼ）、b-Catenin、c-Jun、腫瘍抑制タンパク質p53などのいくつかの転写因子、RNA Pol II、細胞骨格タンパク質tau、G1/Sタンパク質Cyclin D1などの特定のタンパク質が含まれます。

別名

ペプチジル-プロリルシス-トランス異性化酵素 NIMA相互作用因子 1; EC 5.2.1.8; ロタマーゼ Pin1; PPlase Pin1; DOD; UBL5; PIN1; PPlase

製品情報

種	人間
由来	E. coli
外形	無色の滅菌フィルター処理された溶液。
分子量	18.2 kDa
純度	95.0%以上は、(a) RP-HPLCによる分析、(b) SDS-PAGEによる分析によって決定されます。
活性	> 162 nmoles/min/μg
緩衝液	20mM Tris-HClバッファー（pH7.5）、0.1M NaCl、5mM DTT、20%グリセロールを含むタンパク質。
単位定義	特定の活性は、キモトリプシンを使用して、Tris-Hcl pH8.0で1°Cの条件下で1分間に1μmoleのsuc-AAFP-pNAを切断する酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

安定性

全バイアルを2~4週間以内に使用する場合は、4°Cで保管してください。長期間の保管には、-20°Cで冷凍してください。長期保存の場合は、キャリアタンパク質（0.1% HSAまたはBSA）を追加することをお勧めします。複数回の凍結-解凍サイクルを避けてください。